

H 2 2 年度ごみゼロ社会実現プラン推進モデル事業

大台町「生ごみ・資源物の資源化システム構築検討事業」

- ・ごみの減量やこれまであまり利用が進んでいなかった生ごみの有効利用を進めるため、町民、民間団体・農家等と連携して、家庭等から発生する生ごみの資源循環システムの構築に向けた取組を行う。
また、粗大ごみなどのリユースに向けたリサイクル人材バンクを設立し、2 R (Reduce、Reuse) の取組を推進する。

名張市「生ごみ・草木類の回収及び資源化システムの実証実験事業」

- ・市内全域での生ごみ分別収集と資源化をめざし、市民、地域団体等と連携して、生ごみや草木類の回収・資源化の実証実験に取り組み、本格実施にあたっての課題や対応策等の検討を行う。

伊勢市「事業系ごみの減量化・資源化に関する検討事業」

- ・事業所等から発生するごみの減量化や生ごみ等の資源化を推進するため、事業系可燃ごみの組成分析を実施するとともに、事業者に対して可燃ごみの減量・資源化に関する意識調査を実施する。

大台町「生ごみ・資源物の資源化システム構築検討事業」

町民を対象とした生ごみ堆肥化講習会の開催

- ・参加人数：第1期 延べ143人（平成22年5月～8月、3回開催）
第2期 延べ42人（平成22年12月～平成23年3月、3回開催予定）

生ごみ堆肥化推進検討会の開催

- ・日時：平成22年10月7日
- ・参加者：生ごみ堆肥化講習会受講生、役場職員
- ・内容：町内での生ごみ堆肥化の推進方策等について検討



堆肥化講習会



堆肥化推進検討会

②名張市「生ごみ・草木類の回収及び資源化システムの実証実験事業」

- ・ 対象：生ごみ
- ・ 試行収集期間：平成22年10月1日～12月23日（約3ヶ月間）
- ・ 参加地区、世帯：23地区、1,963世帯
- ・ 実施方法：週2回の燃やすごみのうち1回を生ごみ専用収集日とし、「生ごみ専用袋」（生分解性プラスチック製）に入れて、ごみステーションに排出。
- ・ 収集方法：試行期間中の生ごみ専用収集は名張市が実施。
- ・ 処理方法：民間処理施設（2社）で堆肥化処理の実証を実施。
- ・ 配布物：フタ付き密閉型水切りバケツ
生分解性プラスチック製袋（5と10を各15枚、計30枚）

フタ付水切りバケツ



ごみステーション



収集した生ごみ



堆肥化処理施設

伊勢市「事業系ごみの減量化・資源化に関する検討事業」

12月1～3日 事業者の排出ごみの組成調査

- ・対象：伊勢市内の旅館・ホテル、総合食品小売業、飲食業 10件
- ・内容：組成分析（10分類50項目）、単位容積重量測定、三成分分析等

12月6日 事業系可燃ごみに係るアンケート調査

- ・対象：伊勢市内の旅館・ホテル、総合食品小売業、飲食業 1,006件
- ・内容：事業系一般廃棄物、特に生ごみの排出・処理状況等に関する調査
- ・回収率：31.21%（回答✕切 12月20日）



排出ごみの組成調査